

# 北川ヒューテック(株)手取合材所の環境行動計画

平成 23 年 06 月 13 日

## 環境方針

### 〈基本理念〉

北川ヒューテックはコンストラクションというクリエイティブな事業を通して、循環型社会の構築を目標とし、地球環境保全を念頭に活力ある事業活動を推進し、自然豊かな地球環境を次世代へ引き継ぐことを目指します。

### 〈行動指針〉

事業活動が環境に影響を与えることを認識し、以下の環境保全行動を推進します。

1. 事業活動すべての段階において最新の公害防止技術・環境保全技術の導入に努め、省資源（廃棄物・排水量削減）・省エネルギー（CO<sub>2</sub>削減）及びリサイクル・適正処理（廃棄物削減）を行い、環境負荷低減を図る。
2. 環境に係わる法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守する。
3. 従業員に対し環境保全に関する教育を行い環境保全の意識向上に努め、環境方針の周知徹底を図るとともに、必要な技術・資格の取得を実施する。
4. 環境方針の公開等、情報開示に努め、地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組む。
5. 環境方針達成のため環境マネジメントシステムを効率的に運用し、継続的な維持・改善を図る。

平成 23 年 06 月 13 日

北川ヒューテック株式会社

手取合材所長 赤池 義浩

### 3 環境負荷の低減目標

平成 25 年度に向けての環境負荷の低減目標は、次の通りです。

※ 数値的な低減目標についての基準年度は、平成 22 年度

環境目的	環境目標	H23	H24	H25	
CO <sub>2</sub> 排出量削減 (化石燃料・ 電力使用量 の削減)	H22 年度 に対して H25 年度 1%減 (製品 t 当たり 換算値) 単位 : kg-CO <sub>2</sub> /t	目標値	H22 年度比 99%		
		活動項目	事務所節電	←	←
			デマンド調整	←	←
			CO <sub>2</sub> 排出量の把握 (フラット・重機)	←	←
			作業性効率化 (重機作業ノウハウ 検討・見直し)	←	←
			生産性効率化 (P 出荷効率 検討・見直し)	←	←
廃棄物排出量削減 (事務所系廃棄物)	H22 年度 に対して H25 年度 1%減	目標値	H22 年度比 99%		
		活動項目	事務所ゴミの分別	←	←
			B <sub>1</sub> -紙使用量の確認	←	←
			紙両面使用の推進	←	←
			A <sub>1</sub> -B <sub>1</sub> -R <sub>1</sub> 化の実施	←	←
総排水量削減	H22 年度 に対して H25 年度 1%減	目標値	H22 年度比 99%		
		活動項目	節水の励行	←	←
			排水量(水使用量)の把握	←	←
			水使用量の削減方法の 検討・実施	←	←

#### 4 環境保全に向けた具体的な取り組み

##### ① CO<sub>2</sub> 排出量削減

- ・空調機の効果的運用
- ・事務所内空調機の温度設定（夏 27℃、冬 20℃）
- ・空調機の整備、点検
- ・無駄な照明の消灯
- ・製品製造に関わる燃料削減
- ・重機作業効率の向上  
（アイドリングストップ、スリップ作業の防止、ふんわりアクセルの励行）
- ・電力デマンド調整
- ・プラント作業効率の向上  
（入荷 As 温度の定期チェック、合材サイロの効率利用）

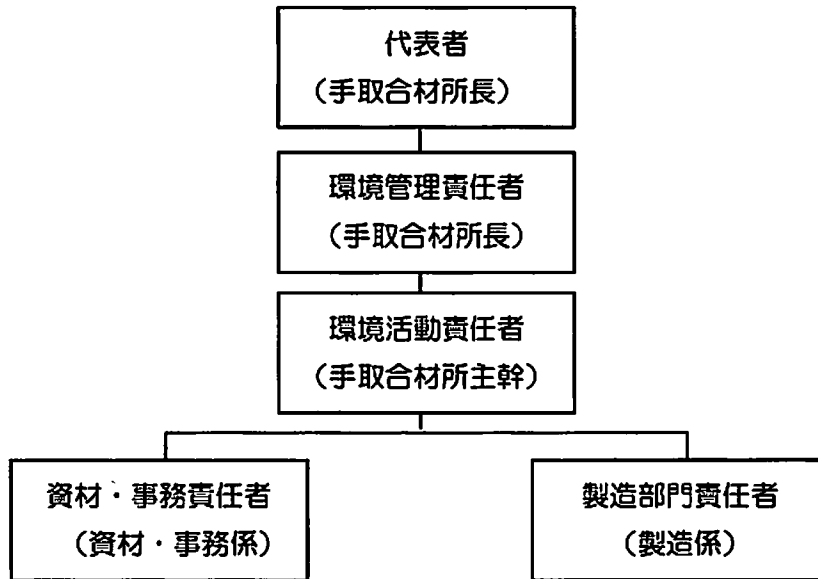
##### ② 廃棄物排出量削減（省資源の推進）

- ・事務所系廃棄物削減  
（分別収集の実施、裏紙の有効利用）
- ・産業廃棄物削減  
（産廃排出事業者への分別持ち込みの指導）

##### ③ 総排水量の削減

- ・節水の励行
- ・使用水量の把握
- ・散水以外の防塵対策の検討

## 5 実施体制



代表者としての役割は、次のとおりとする。

- ・ 環境方針の承認
- ・ システムの構築・運用に必要な人員、設備、費用などの確保

環境管理責任者としての役割は、次のとおりとする。

- ・ 環境方針の作成
- ・ 実施体制の構築
- ・ 環境負荷と環境への取り組み状況の把握
- ・ 環境行動計画の承認
- ・ 全体評価と見直し

環境活動責任者としての役割は、次のとおりとする。

- ・ 環境行動計画の作成
- ・ 教育・訓練の実施
- ・ 取り組み状況の確認と問題の是正
- ・ 環境上の緊急事態への対応

責任者としての各係の役割は、次のとおりとする。

- ・ 環境関連法規等のとりまとめ
- ・ 環境関連文章および記録の保管
- ・ 実施及び運用
- ・ 環境上の緊急事態への準備